



Contents

1. 社長室から、こんど~です
2. 経営まめ知識：『人口減社会が意味するもの』
3. FZC：債務者区分って。。



大成経営コンサルティンググループは、財務会計総合コンサルタント業として、企業経営に関するあらゆるご相談にワンストップで対応しております。

- ◆(株)大成経営開発・・・財務会計総合コンサルティング <http://www.taiseikeiei.co.jp>
- ◆(株)エイビスアソシエイツ・・・記帳代行、給与計算 <http://www.taiseikeiei.co.jp>
- ◆(株)船井財産コンサルタンツ熊本・・・企業再生、相続、不動産 <http://www.fzc-souzoku.com>
- ◆(株)アップワード エスト保険・・・生命保険、損害保険 <http://www.14.ocn.ne.jp/~esthoken>
- ◆(株)大成アフェクション・・・居宅介護支援、通所介護事業
- ◆(株)大成グローバールレーティング・・・商社、貿易業務 <http://www.taisei-gt.co.jp>

清永税理士事務所・飛石税理士事務所・今井税理士事務所・高木社会保険労務士事務所・竹馬社会保険労務士事務所
社会保険労務士あきおか事務所・村上司法書士事務所・的場土地家屋調査士事務所・行政書士法人エド・ヴォン

社長室から、こんど～です



お正月気分もそろそろ抜けて、例年になく厳しい寒さですが、そんなことは言ってもらえません。でもテレビを見ると、毎日雪下ろしをしなくてはならない地域の人々はとても大変ですよ。熊本でよかったと思う今日この頃です。

先日、熊本の一番寒かった日(-5度でした。)、事務所は朝から水が出ません。お風呂になったら出るかなと思っていましたが出ません。トイレはお隣へ借りに行かなければならない始末でした。とうとう午後からは、会社の近くに住んでいるスタッフさんの家にポリタンクをもって水を汲みにみんなで行きました。あまり出ないので業者さんをお願いしていただいたところ、モーターの空回り防止のために自動的に電源が落ちるようになっていたようで、「スイッチを入れれば水は出ますよ」と言われました。みんな誰も知らないとはいえ、おかしい話でした。私たちは笑い話で済みましたが、あの地震の後被災地の人々は、水が出ない、火も使えない、寝るところもない、それが毎日だったんだなと思うと、改めて日常の当たり前前に感謝しました。

電気も水も節約できるところは節約して大切に使い、たくさんの電気を使う夏に備えなければなりません。今、節電、節約をどこの企業さんも心がけておられると思いますが、先日お友達からステップアップニュース(速報版)というのをもらいました。ちょっといい話かなと思いましたのでご紹介させていただきます。

節電につながる

空調・給湯・照明の更新工事が対象!!

速報版

国の補助金を活用して、省エネ更新しませんか？

補助事業名称

建築物節電改修支援事業費補助金

公募期間

平成24年1月30日(月)～2月29日(水)

事業要件

既築建築物の既存設備をリプレイス等する事業(節電効果のあるもの)

電力需給対策として、民生部門の節電を推進するために、空調、給湯、冷蔵、冷凍設備、照明の設備導入を行う場合、かかった費用の1/2～1/3を補助する制度が実施されています、それが今月の末までです(工場倉庫、観劇場、卸売市場、火葬場は対象外)。

弊社も厳しい部長の号令で、経費節約のためお風呂はこまめに電気を消したり、人のいないところの蛍光灯を外したりして頑張っています。器具が古いと節約するよりも取り替えたほうがいい場合もあります。これを機に見直しされてはいかがでしょうか？

まだまだ寒い日が続きますが、これからやってくる繁忙期に備え気合を入れ直し、大成グループはますます外向き！上向き！前向き！さらに前のめり(?)で頑張ります。どうぞ確定申告、他何でも御相談くださいませ。

ありがとうございました。

(株)大成経営開発社長 近藤 記)



社長ブログ：近藤社長の体と会社のダイエット日記
毎日更新しています！是非読んでください！
<http://www.taiseikeiei.co.jp/blog/diet>

経営まめ知識：『人口減社会が意味するもの』

早いものでもう2月です!! 今年もあっという間に1年が終わりそうですね!! 今年ももう後11ヶ月なのか? 11月もあるのか? みなさんは如何に感じていますか? ところで今年は厳冬で凄いですね!! 21世紀は、気候も経済も異常が当たり前で、変化のスピードが速いみたいです!!



ところで数日前のニュースで取り上げられていた事です、今現在の日本の総人口が1億2,800万人弱で50年後の2060年には8,600万人に減少するという事が大々的に報じられていました。社会保障と税の一体改革で、消費税を8%~10%へ上げるための政治的意図が見えるニュースですね!! 消費税もIMFやエコノミストによるともう15%~20%の論議もなされている状況です!! 50年後、1960年生まれの私は、丁度100歳でこの世にいないと思います。関係ねえ~と言えばそれまでですが、実は関係あるのです!!

それはおいておいても確か私の記憶では10年ほど前に100年後の2100年の政府試算の人口予測では、8,000万人という予測が出ていたと記憶しています。それが10年で予測を変更して、40年も早く8,600万人になると発表しています。政治家は、年金や社会保障財源も説明できない状態です。パニックになるからでしょうが、会社経営では現実を直視しないと改善が出来ません!! 日本国民に現実を知らせる事も政治家として必要ではないでしょうか? 誰もが責任を取らない責任追及ゴッコをしてもしょうがないと思うのですが.....



ところで私は、政治の愚痴をいうつもりはありません。このニュースを見て聞いてみなさんは、どの様にお感じになっているのかという事です!! 私は10年以上前からこの事をお客様やグループのみなさんへ伝えてきました。それは人口に基づく経済予測は、誤りがないからです!! 例えば考えてください。1億2,800万人の人口が、50年で8,600万人になるという事です。平均で毎年84万人・50年間人口が、減り続けるという現実です!! 今年4月政令都市で合併後の人口がやっと70万人の熊本市以上の人口が.....50年間。私は分かっていた事です、背筋が凍りました!! 日本人が50年で1/3いなくなるという事です!! これは言ってみれば全事業所の1/3は、要らなくなるという事です!!

日本の現状を観れば世界で一番寡占化と系列化が進んでいます!! それにインターネットの普及により日本のマーケットは、国内だけの単独のもでなくなりアジア経済圏的動きの中にあります。今後中国を中心としたアジア企業の日本買いを含めた進出が増えるでしょう!! また日本も円高や人口減社会を背景として、アジアへの進出が増えるでしょう!! こうなると私たちのお客様である中小企業は、どうなるのか????? 凍てつかずには、おれないのが私の心境です!! 危機感が募るばかりです!! 不安感は余りありませんが.....

日本は今から土地や建物が余り、デフレ傾向が続くでしょう!! 政府はデフレが悪いと言いますが、本当に悪いのでしょうか? お金の価値が上がりアジアなどで稼いだお金を有効に国内で使えば悪い事ばかりではないでしょう!! その戦略が、政治家に企業にない事の方が悪いのでしょうか? 人口をベースとして世界を観てアジアを観て日本を観て戦略を立て、国内事業とアジア事業の組み立てをしたいものです!! ベトナムやアジアの進出相談が、九州を含め国内から相当に増えています!! これは21世紀の流れでしょう!! ご相談は、弊社担当へご相談ください。みなさんのご健闘をお祈りします!!

(熊本八代事務所にて 大成経営コンサルティンググループ会長 石本 記)



会長ブログ：自由人石本の毘沙門天世界放浪記
毎日更新しています! 是非読んでください!
<http://www.taisei-go.co.jp/blog>

FZC：債務者区分って。。

もうすでに1月が過ぎました。1月は“いく”、2月は“逃げる”、3月は“さる”と言いますが、時間を征服されることなく、時間を自由に使いたいものです。

さて、今回は銀行の融資審査において基本の債務者区分についてお話します。いやいや結構大事な事ですよ。。

銀行から融資を受けている会社は、必ず債務者区分に格付けされています。良い債務者区分になれば、融資をスムーズに受ける事も、担当者の態度も変わってくると思います。まず、金融庁には【金融検査マニュアル】があり、それに基づき債務者区分を付けます。また、債務者区分とは別に、銀行独自で格付けするものを“信用格付”と言います。

債務者区分には、

- ・正常先
 - ・要注意先
 - ・破綻懸念先
 - ・実質破綻先
 - ・破綻先
- の5つに分けられます。

【正常先】とは、

業績が良好で、財務内容に問題なく、延滞もない。

【要注意先】とは、

- ・3ヶ月以上の延滞や条件変更がある会社を要管理先
- ・業況不調で財務内容に問題がある、もしくは融資に延滞がある会社を通常の要注意先と言います。

【破綻懸念先】とは、

事業を継続しているが、実質債務超過の状態に陥っており、業況が著しく低調で融資が延滞状態にある。

【実質破綻先】とは、

事業を形式的には継続しているが、明らかに過大な借入金が残存し、実質的に大幅な債務超過の状態に相当期間陥っており、事業好転の見通しが無い状況、再建の見通しが無い状況で、元金又は利息について実質的に長期間延滞している。

【破綻先】とは、

法的・形式的な経営破綻の事実が発生している債務者

要注意先以下になれば、融資が厳しくなってきます。通常の要注意先であれば、積極的な新規融資は行ってきませんが、将来、正常先へ回復する事が期待できるのであれば、新規融資を行う事もあります。また、要管理先、もしくは、破綻懸念先以下であれば、新規融資どころか、出来るだけ早く、多く、融資を回収したいという姿勢になります。

会社は、良い債務者区分になるように、考えて行動していく必要があります。

(株船井財産コンサルタンツ熊本 岡村 記)



編集後記：

節分、立春も過ぎ暦の上では春となりましたが、毎日本当に寒いですね。。弊社の春はまだあと1ヶ月先。凍りつくほど毎日怒られながらも、電子レンジで解凍しながら、なんとか繁忙期を乗り切っています。皆様のもとにも、よい春が来ますように!! はーるよ来い!! はーやく来い!! はなこ